

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」仮申請関係様式

都道府県名	北海道
市区町村名	帯広市
自治体区分	中核市

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の種類1	課題の種類2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
帯広市	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	市内学校の教育職員に係る超過在校等平均時間が小学校(義務教育学校前期課程)327時間、中学校(義務教育学校後期課程)486時間となっており、働き方改革の取り組みの推進が課題となっている。	全ての市立学校での学校運営協議会の開催やコーディネーター等を対象とした研修会を通じて、保護者や地域住民への理解や参画を促す。	保護者や地域住民の理解、コーディネーターのスキル向上を図ることによって、地域との協働が進み、教育職員の負担が軽減する	市立学校の教育職員に係る超過在校等時間の状況	小学校(義務教育学校前期課程)327 中学校(義務教育学校後期課程)486	時間	360		
帯広市	②学校と地域の課題	青少年の健全育成	ボランティアの人手不足により、子ども達を見守る十分な大人の数が確保できず、参加できる子どもの人数が限られることにより、子ども達の体験活動の機会が減少している。	新規ボランティア確保のため、チラシの配布、PRイベントや展示ブースの設置などのPR活動を年に2回以上行う。	ボランティアの人手が増えることにより、各団体で十分な人員を確保し、1回あたりの参加児童を増やすことで子ども達の体験活動の機会を充実させる。	1回あたりの参加児童数	12	人	15		